

2026年3月15日

363

2026イースター
特別号

めぐみ

ここはあなたの教会です
常盤台バプテスト教会

常盤台バプテスト教会の EASTER

4/5 (日) 11:30~12:45

YouTube同時配信

イースター礼拝

メッセージ 森崇 牧師

イエス・キリストの復活を喜び、新しい命と希望を祝う礼拝です。
礼拝後に「エッグハント」と「茶話会」を開催します。
隠されたたまごを探すワクワク感と、美味しいお茶での語らいの時間を。
どなたでもご参加いただけます。



受難週早天祈祷会

～十字架の道を、祈りとともに～

対面&Zoom

主イエスの十字架までの受難を覚え、イースターを迎えるための祈り会です。
朝の静まりの中で、聖書のことばに耳を傾けましょう。

3/30 (月) - 4/3 (金) 6:30~7:15

4/5 (日) 8:30~9:00

Zoom情報は4面をご覧ください

つぼみは花へ、
いのちは永遠へ



イエス・キリストの復活 ~イースターの物語を絵画とともに~

クリスマスには、神さまのひとり子イエスさまがお生まれになった日を世界中でお祝いしました。イエスさまはキリスト（救い主）としてこの世に送られ、人々が神に立ち帰るように福音を語りました。出会った人々はその愛の行いや言葉に惹かれ、聞き従う者が増えました。一方でそれは、権力や支配を手にしてきた宗教指導者には脅威となり、イエスさまを十字架にかけ、殺すという計画がおこなわれました。しかし、その十字架の死から三日目の日曜の朝、神さまはイエスさまをこの世によみがえらせました。イースターはその復活を感謝し、お祝いをする日です。ここでは、主の復活の前後を振り返ります。

かつてのヨーロッパでは、絵画は聖書の物語を人々に伝える大切な布教の手段でした。そのため、イースターの出来事は有名な巨匠をはじめ、多くの画家によって描かれています。今回は、イエスさまが弟子の足を洗う場面から復活までの道のりを名画とともにたどります。色彩豊かな作品を通して、聖書の世界をどうぞお楽しみください。



救い主の歩みと、十字架への道



1. 木曜日の洗足 (ヨハネによる福音書13章1~20節)

ご自分が十字架にかかる時が近いことを知っておられたイエスさまは、木曜日に弟子たちと「最後の晩餐」の席を持たれました。食事の最中、イエスさまは立ち上がり、弟子

たちの足を洗い始めます。土の道を歩いて汚れた足を洗うのは、本来は奴隷のする仕事です。そのため恐縮して遠慮する弟子たちに、イエスさまは「わたしのしていることが分かるか」「あなたがたも互いに足を洗い合わなければならない」と語りかけ、愛をもって仕え合うことの大切さを教えられました。

ペテロの足を洗うイエス

JESUS WASHING PETER'S FEET (1852-1856年)

作者：フォード・マドックス・ブラウン (イギリス)
所蔵：テート・ブリテン (イギリス、ロンドン)



2. 最後の晩餐 (マルコによる福音書14章12~26節ほか)

イエスさまは十字架にかかる前の晩、弟子たちと食事をされました。その席で「この中にわたしを裏切る者がいる」と話されます。そして、パンを弟子たちに分け与えて「これはわたしの体である」と語りました。また、ぶどう酒の杯を渡して「これは罪が赦されるために流される、わたしの血である」と

教えられました。イエスさまは、ご自身の大きな愛と犠牲を忘れないように、これを記念として行うことを弟子たちに命じられたのです。



最後の晩餐

THE LAST SUPPER (1652年頃)

作者：フィリップ・ド・シャンパーニュ (フランス)
所蔵：ルーブル美術館 (フランス、パリ)



3. 苦しみの祈り (マタイによる福音書26章36~46節ほか)

食事の後、イエスさまは弟子たちと共にゲッセマネという所へ向かわれました。迫りくる十字架の死の前にした激しい苦悩の中、弟子たちから少し離れ、地にひれ伏して

祈られます。血の汗が滴り落ちるほどの極限の苦しみのなかで、「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いとおおりではなく、御心のままに」と祈りました。ご自身の命すらも、父なる神の救いの計画に完全にゆだねられた痛切な場面です。

ゲッセマネのキリスト

CHRIST IN GETHSEMANE (1886年)

作者：ハインリヒ・ホフマン (アメリカ)
所蔵：リバーサイド教会 (アメリカ、ニューヨーク)



十字架の死と、よみがえりの希望

4. 裁判 (ルカによる福音書23章1～25節ほか)

捕らえられたイエスさまは、当時の支配国であるローマの総督ピラトのもとへ連行され、裁判にかけられます。ピラトはイエスさまを調べても「死刑に当たる罪は何も見つからない」と無罪を主張し、釈放しようとした。しかし、イエスさまを疎ましく思う宗教指導者たちと、彼らに扇動された群衆は「十字架につけ

ろ」と激しく叫び続けます。ついにピラトはその暴動のような要求に屈し、イエスさまの十字架刑を決定して引き渡しました。

この人を見よ

ECCE HOMO (1871-1888年頃)

作者：アントニオ・チゼリ (イタリア)
所蔵：ピッティ宮殿 近代美術館
(イタリア・フィレンツェ)



5. 十字架の上で (マルコによる福音書15章21～41節ほか)

激しくむちを打たれたイエスさまは、ゴルゴタの丘で十字架につけられました。まわりの人々からひどいあざけりを受け、言葉にできない苦痛と屈辱のなかで、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」と叫ばれました。それは、人々の罪をたった一人で背負い、絶望という一番深い悲しみの姿

でした。深い暗闇のなか、イエスさまは私たちの身代わりとなって、その命を捧げられたのです。

槍突き(キリストの磔刑)

LE COUP DE LANCE (1620年頃)

作者：ピーテル・パウル・ルーベンス (ドイツ)
所蔵：アントワープ王立美術館 (ベルギー)



6. イエスさまの復活 (ヨハネによる福音書20章1～18節ほか)

十字架で息を引き取ったイエスさまは、重い石で塞がれたお墓に葬られました。安息日が明けた日曜の朝、女性たちが香油を持ってお墓へ向かうと、入口の石は開けられ、中は空っぽでした。驚く女性たちに天使が現れます。お墓のそばで一人泣き続けていたマグダラのマリアが、「マリア」とやさしく名前を呼ばれて振り

返ると、そこには死からよみがえられたイエスさまが立っておられました。喜びの復活の朝です。

キリストの墓を訪れた三人のマリア

EHOLY WOMEN AT CHRIST'S TOMB (1590年代)

作者：アンニーバレ・カラッチ (イタリア)
所蔵：エルミタージュ美術館
(ロシア、サンクトペテルブルク)



7. 弟子たちに現れる (ルカによる福音書24章13～49節ほか)

お墓が空だったと聞いても、弟子たちはイエスさまの復活を信じられませんでした。その日、エマオという村へ向かう二人の弟子の前に、見知らぬ人が近づいて一緒に歩き、救い主の苦しみの意味を教えます。その後の食事でパンを分け与えられた時、二人の目は開かれ、その人こそよみがえったイエスさまだと気づき

ました。急いでみんなの所へ戻って知らせていると、ついに弟子たち全員の前にイエスさまが現れ、大きな喜びに包まれました。

エマオの晩餐

SUPPER AT EMMANUS (1606年)

作者：カラヴァッジョ (イタリア)
所蔵：ブレラ美術館 (イタリア、ミラノ)





ウクライナ難民支援



ウクライナの子どもたちと共に祝うイースター



3月29日から4月7日にかけて、当教会友納靖史牧師をリーダーに日本から23名のボランティアチームがポーランドへ出発します。目的は現地の「ジョイ・キャンプ」に参加し、戦禍を逃れたウクライナ難民の子どもたちの心と魂のケアを行うことです。

今年のイースターは、このキャンプの中で子どもたちと共に礼拝を捧げます。主イエスの受難と復活の物語を通し、闇の中に希望の光が注がれる福音を分かち合います。また、献品されたハンドチャイムを子どもたちと一緒に練習し、イースター礼拝の中で共に賛美を奏でる予定です。



教会学校のイースター 4/5(日)9:15~10:15

幼稚科、小学科、中高科（未就学児～高校生まで）それぞれの教会学校でもイースターのお祝いをします。はじめてのお子さまも、ぜひご参加ください。



受難週早天祈禱会 ～十字架への道を、祈りとともに～

イエス・キリストが十字架にかかれるまでの最後の一週間を、朝の静まりの中で覚えます。今年はヨハネによる福音書（14～20章）を通して、最後の晩餐から十字架、そして復活へと至るイエスさまの歩みをたどります。ショートメッセージを聴き、心を合わせて祈るひととき。主の御心に深く触れる一週間をご一緒しましょう。

	時間・場所	ヨハネによる福音書	範囲内から選ばれた聖書箇所より ショートメッセージを聴き、祈ります。
3月30日(月)	6:30~7:15 会堂&Zoom Zoom ミーティングID 915 8483 9338 パスコード 015379 	14章・15章	14章:死を前にしたイエスが、弟子の不安を解き、再会と希望を語ります。 15章:ご自身をぶどうの木にたとえ、私とつながり互いに愛し合って生きなさいと説きます。
3月31日(火)		16章	苦難はあるが聖霊が導く。悲しみは喜びに変わり、私は世に勝ったと励ます章。
4月1日(水)		17章	イエスが、弟子たちが守られ、心が一つになるように神に願った祈りの章。
4月2日(木)		13章・18章	13章:弟子の足を洗い仕える心を示し、裏切りの予告の後、互いに愛し合うよう新しい掟を授けます。 18章:弟子の裏切りで逮捕され、ピラトの裁判で受難が始まります。
4月3日(金)		※毎週の水曜祈禱会と同じZoom情報です	18章38節後半～19章30節
4月4日(土)	この日の早天祈禱会はありません。各自で祈りましょう。	19章31~42節(14章15~31節)	十字架で死を遂げたイエスを墓に葬る箇所です。(14章:去っても聖霊を送り、世にはない心の平安を与える約束しました)
4月5日(日)	8:30~9:00 会堂&Zoom	20章	復活したイエスがマリアや弟子に現れ、見ずに信じる者は幸いと教えました。

常盤台バプテスト教会 | 〒174-0071 東京都板橋区常盤台2-3-3 Tel 03-3960-0449 Fax 03-6454-5305

主任牧師: 友納靖史 牧師: 森 崇 協力牧師: 渡部 信

日曜日の礼拝 | 第一礼拝 9:15~10:15 第二礼拝 11:30~12:30

※4月5日のイースター礼拝は11:30の礼拝のみ

教会学校、祈禱会など集会がございます。詳しくはホームページまたはお気軽にお問い合わせください。

「めぐみ」郵送、メール送信希望の方は、dendou@tokiwadaikyokai.comまで

教会HP



常盤台バプテスト教会
常盤台めぐみ幼稚園



東武東上線「ときわ台」北口から徒歩3分
常盤台めぐみ幼稚園
または丸の内線「常盤台」駅をご利用ください